

| 議 長 | 副議長 | 局 長 | 次 長 | 係 長 | 係 | 合 議 |
|-----|-----|-----|-----|-----|---|-----|
|     |     |     |     |     |   |     |

## 産 業 建 設 調 査 会 記 録

平成26年8月 7日（木）  
 現地視察後 全員協議会室  
 9時00分～12時07分

【委 員】 布施委員長、牛尾昭副委員長

串崎委員、飛野委員、笹田委員、西田委員、牛尾博美委員

【委員外】 小川議員、野藤議員、岡本議員、芦谷議員、平石議員、江角議員

【議長団】 澁谷副議長

【執行部】

(産業経済部) 中村産業経済部長、田村産業経済部次長（兼産業政策課長）、竹中産業振興課長、  
~~佐々本広島市場開拓室長~~、川神農林振興課長(併農委事務局長)、吉田水産振興課長、  
 石田漁港活性化室長、栗栖観光交流課長、倉井産業企画係長

(都市建設部) 下垣都市建設部長、河野都市建設部次長（兼建設企画課長）、~~吉田建設整備課長~~、  
~~宮下地籍調査室長~~、岡本維持管理課長、~~佐々本建築住宅課長~~、吉川災害復興室長、  
 藤井建設庶務係長

(金城支所) 吉永金城支所長（兼金城支所建設課長）、芹原金城支所産業課長

(旭支所) 岩谷旭支所長、田村旭支所産業課長、塚田旭支所建設課長

(弥栄支所) 田中弥栄支所長、岡本弥栄支所産業課長（兼弥栄支所建設課長）

(三隅支所) 横田三隅支所長、岡田三隅支所産業課長（兼三隅支所建設課長）

(総務部) 河上安全安心推進課長

【事務局】 小川書記

### 議 題

#### 1. 執行部報告事項

(1) ブランディング実践セミナーの開催について（産業政策課）

(2) 漁業別水揚について（水産振興課）

(3) 浜田市と邑南町との「食」を通じた観光・文化交流協定の締結について（観光交流課）

(4) 浜田の「お宝」探しの応募結果について（観光交流課）

(5) 平成25年度指定管理施設の状況について（金城支所産業課）

(6) 平成25年度第三セクター決算状況について（三隅支所産業課）

(7) 市道路線等の現地視察について（維持管理課）

(8) その他

#### 2. その他

## 【議事の経過】

[ 9 時 00 分 開議 (車中) ]

布施委員長

おはようございます。  
ただいま出席委員は7名で、全員出席ですので、直ちに本日の調査会を開催いたします。  
それでは、委員の皆様へ、本日の調査会の流れ等についてご説明いたします。  
お配りした資料のレジメをご覧ください。  
本日の調査会では、午前9時から11時頃まで、議題1の(7)市道路線等の現地視察を、資料の後ろに付けております「現地視察行程表」のとおり行い、市役所に戻って、議会全員協議会室において調査会を再開し、レジメのとおり、現地視察を除く6件について報告・説明を受ける予定です。  
また、報告事項の(8)その他として、現段階で、観光交流課から1点、安全安心推進課から1点報告をさせて欲しいとの連絡がありましたので、よろしく申し上げます。  
以上ですが、委員の方から、何か質問等ありますか。(なし)  
書記の方から何かありますか。(なし)  
それでは、このまま現地へ向かいますので、よろしく申し上げます。

[ 視察終了 9 時 58 分 ]

[ 帰庁後、10 時 27 分 再開 ]

### 1. 執行部報告事項

#### (1) ブランディング実践セミナーの開催について(産業政策課)

布施委員長 皆さんおそろいですので、会議を再開します。執行部報告事項です。順次説明をお願いします。議題1(1)について、産業政策課長。

産業政策課長 (以下、資料をもとに説明)

布施委員長 説明が終わりました。委員から質問はありますか。笹田委員。

笹田委員 募集期限が残り1ヶ月とのことですが、現時点で何企業くらい応募があるのでしょうか。

産業政策課長 現時点の応募はございませんが、数社は候補として挙げているので、今日こうして公募するというのを皮切りに、チラシ配布やホームページ、企業への訪問等によって参加社を募っていきたくと思っています。

笹田委員 今はないとのことですが、対象者の中で食品製造販売と雑貨製造販売ということで、この2つに絞ってのブランディング実践セミナーという認識でよろしいでしょうか。

産業政策課長 主には食品関係あるいは雑貨ということにしていますが、去年ですと包装関係の業者さんも中四国のフェアに出展されているので、そういった方も含めて広く募りたいと思っています。

布施委員長 その他委員の方。牛尾昭副委員長。

牛尾昭副委員長 現在応募がないとのこととびっくりしたのですが。一つの考え方とし

て、部長はご存知だと思うけど、かつてダイナミックスの上野祐子さん辺りが中心になって商品開発委員会みたいなものがあった、その時にできたものが例の「どんちっち鰯カレー」ですかね、まだ商品として生き残っています。あの時に結構色んな、例えば水産加工の若手メンバーとか色んな方が参加されていたのだけど、過去のそういった同じような仕掛けについての参加者のデータというのは産業経済部に残っていると思うので、そういう所をもう1回、あれから随分時間も経っているし、洗い出して再度参加してもらって、新しい商品開発何とかという、そういう努力というのは当然されていると思うのだけど、その辺はどうなのですか。

産業政策課長

当然、過去の色んな事業等のデータも利用させていただきながら、企業さんに紹介なりお知らせをしていく中で、参加を募っていきたくと思っています。それと昨年の中四国ビジネスフェアにおいては、浜田から5社出展していただいていますので、浜田市の商品リストにあります、各者色々ありますが、そういう中から広く声をかけて参加を募りたいと思っています。

牛尾昭副委員長

いまのお話だと、例えばいま言われたような企業とか過去のデータにある企業には案内というのは既に行っているのですか、これからなのですか。どちらでしょう。

産業政策課長

行っておりません。行っておりませんが、浜田産業振興機構のメルマガ等も活用して、今300社あまり登録されていますが、そういった所にもこういった情報を発信して、参加を募りたいと思っています。

牛尾昭副委員長

産業支援機構の話が出たのでついであら言っておきますが、産業支援機構の動きは非常に中途半端だと、参加企業の方から。もう少し徹底してやってもらうべきではないかと。時々新聞に良い部分だけが出るのですが、では実態はどうなのかと色々個別案件は聞くのだけど、新聞で書かれていることの中身がついて行ってないというような評価があるのです。それはやはり中途半端だというような評価もあるので、まあ全部がそうではないと思うけど、その辺は、業界や民間はそのように思っているということで。業界のお考えになっていることと市がこうやって仕掛ける政策が、近づいていくようなことを考えていかれないと、最終的に集まりが悪かったねというようなことになるのではと心配しております。もう少し工夫や努力が必要ではないかと。機構の関係の方がいらっしやって申し訳ないけど。そういう現場の声があるので、ひとつご留意いただきたいと思います。

布施委員長

答弁よろしいですか。その他委員の方ございますか。笹田委員。

笹田委員

セミナーで思い出したのですが、女性セミナーの最終的な件数って何件だったか分かりますか。

産業政策課長

最終的には22名の方から参加がありました。松江市から1名、江津市から3名、益田市から1名、あと17名が浜田市です。広く参加していただいています。これも皆さん方から色々情報発信していただいたおかげだと思っています。ありがとうございます。

布施委員長

その他にありませんか。

( 「なし」という声あり )

ないようですので次の議題に移ります。

## (2) 漁業別水揚について (水産振興課)

水産振興課長 (2)について、水産振興課長。  
布施委員長 (以下、資料をもとに説明 )  
串崎委員 説明が終わりました。委員から質問はありますか。串崎委員。  
前年に比べて大変良いという状況は分かりますが、比較グラフ等、ここに棒グラフがちゃんとあるわけですが、本当の金額というのがなかなか見えない形なので、できれば今年の比較というような累計表というのが、昨年一昨年ぐらいずっと、累計表の横に書いてもらうようにはできないものでしょうか。

水産振興課長 すみません、説明が足りなかったのですが、No. 2の資料の右側に、1月から6月の累計ということで漁業種類別に掲載させていただきます。No. 1には書ききれなかったためNo. 2で記載させていただいています。よろしくをお願いします。

布施委員長 よろしいですか、はい。笹田委員。  
笹田委員 1点だけ確認なのですが、地元外の中型巻き網船が、沖船団なのですが、3船団から5船団に増えて入港回数も3回から24回に増えた。すごく喜ばしいことなのですが、これはどういった理由から船団が増えたのか、分かれば教えてください。

水産振興課長 漁場が隠岐周辺にはあまり見込めないということで、隠岐の船団が浜田沖の方へ来たということです。地元船2ヶ統ですが隠岐船団5ヶ統ということで。その時は非常に浜田沖が有効な漁場だったということだと思います。

布施委員長 よろしいですか。その他ございますか。  
( 「なし」という声あり )  
ないようですので次の議題に移ります。

## (3) 浜田市と邑南町との「食」を通じた観光・文化交流協定の締結について (観光交流課)

### (4) 浜田の「お宝」探しの応募結果について (観光交流課)

観光交流課長 (3)について、及び(4)についてを一括議題とします。観光交流課長。  
布施委員長 (以下、資料をもとに説明 )  
西田委員 説明が終わりました。委員から質問はありますか。西田委員。  
浜田市と邑南町との交流ですが、非常に良いことだと思います。その中で目的も課長から説明がありましたが、色んな課題もあろうかと思えます。財政的なこともあるし、どのような分担でやっていくかもあると思えますけど、将来的に一緒になって広島をターゲットにして色んな売り出しや打ち込みをするということなので、ベストビジョンと言うか、将来的にこうなれば一番良いだろうと思われるビジョンは。ただ一緒にやって協定をして、お互いの特産品があって広島で多少でも物が売れたら良いなというだけの発想なのか、それとももっと高い、将来的には山陽方面にこれぐらいの形でやりたいのだというビジョンがあるのでしょうか、どうでしょうか。

観光交流課長

今、お互いに担当者レベルと言いますか、そういったところでの話は何回かさせていただいています。その中で、いわゆるこちらに来ていただくためのPRということは共通の認識で持っています。特に食を通じてということなので、邑南町さんの場合ですとご存知のとおり味蔵を中心にしてやっつけいらっしゃいますが、そこへの集客であったり。浜田にしてもはまごち等の取組みをやっていますが、向こうからお客様に来ていただく。そういった人を増やしていきたいというのが一つです。もちろん先ほど言いました、例えば浜田のお魚であるとか、邑南町の食材、そういったものも合わせてアピールできればというところを話し合っているところです。

西田委員

邑南町も来ていただくための政策は戦略的にすごくされているので、そういった面では浜田にとっても互いにとっても刺激になると思います。私も前向きに応援したいと思います。

布施委員長  
飛野委員

飛野委員。

素晴らしい施策とは思いますが1点。食材についてちょっと考え方をお聞きしたいと思います。ここにもありますように、浜田市の場合は獲れる魚と農畜産品活用、邑南町の場合は豊かな食材を活用、こうなっているわけですが、地区はちょっと横に置いておいて、農産品についてちょっとお聞きしたいのですが。どうしてもこの内容というかこの書き方からいくと結果的に食材を、広島ターゲット云々とする場合、浜田市は魚、邑南町は農産品となりがちではないかと。そういう格好に推移していくのではないかと懸念と心配があるわけです。浜田にも農産品たくさんあるので、その辺のところをしっかりと。魚は浜田、これは構いませんが、浜田の農産品もしっかり薦めていただけるように。その辺はどうでしょうか、考え方は。

観光交流課長

そこはおっしゃるとおり、浜田にも当然農産品ございます。ただ、いわゆる特徴と申しますか、浜田の方では例えばですがピオーネであったり柿もあたり梨もあたりします。こういったものが、ではそのまま邑南町にあるかと言うと、また違った物が出てこようかと思しますので、そういった所も協働でやっつけようかと話し合っているところです。

布施委員長  
牛尾昭副委員長

よろしいですか。はい、他に委員からありますか。牛尾昭副委員長。

最近の政策の中で言えば、これはヒットだと思うのです。何故かと言うと、一過性で終わるB級グルメではなく、まあ僕の1つ先輩の石橋良治さんが邑南町の町長なのだけど、味蔵が最初の立ち上げに失敗して、A級グルメに転換してようやく良くなってきたという、着眼点ですよ。そこと浜田がタイアップするという。浜田市は去年一昨年か、松坂ブランドの仲間入りも果たしたわけですね。ですからB級ではなく、これから生き残れるのはA級、優れた物ということです。そこでタイアップして協働でおやりになるということは、僕は非常にタイムリーだと思うし、これから生き残れるのはB級ではなくA級なのだということで協働措置をお取りになったということは、政策的に非常に評価しています。ただ飛野さんが言われたように、では本当にA級は何なのということで、お互いのA級の掘り起こしの中で広島をターゲットにしなが、延長は大阪東京なわけですから、そういった優れた物を双方用意しながら市場

を攻めていくという。そういう協働措置ですね。飽くまでもハードルを下げないように。迎合しないように生き残れるようなものを求めるということで、高いテーマで是非これを進めていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

観光交流課長

おっしゃるとおり、この取組み、それぞれ特徴があろうかと思いますが、その特徴を活かしつつ、あるいはそれぞれ、例えばこれについては浜田の方が強いのではないかとか、邑南町さんの方が強いのではないかとこのところがそれぞれ出てこようかと思えます。そういうのをお互い活用しながら進めていきたいと思っています。

布施委員長

その他委員からありますか。

( 「なし」という声あり )

では議題4についてご質問ご意見等ありますか。西田委員。

西田委員

お宝探しについては担当課の方でも、上からの色んな指示があったと思うし、大変ご苦労されたことと思えます。課の方もですが応募する市民の側も、なかなかはっきりと主旨が掴みきれないところもあって応募に躊躇されたところもあるのではないかと。お互いに少しはっきりしていない部分があったのではないかと推測するわけですが、私個人的にも、応募しようと思いつつもちょっと様子を見ておこうかなと思ったり、こういうのは応募しておかないといけないなと思いつつも期間がすぐ過ぎてしまったりして結局しなかったのでも申し訳ないなと思えますが。これからまたこういうお宝探しは、先ほど課長からありましたが、また課の方でコースづくりをされるお考えなのですかね。それともいつぐらいからそういうことをされるのか。どういうお考えなのかをお聞きしたいと思えます。

それともう1点。お宝はまだほんの一部なので、こういうのが表に出てからまた市民の方々も、いやそれならもっとこれもあるあれもあると、色んな良い案が出てくるとも考えます。ですからもう1回、お宝の追加募集とかそういったお考えがあるかどうかお聞きしたいと思えます。

観光交流課長

一つはこのお宝を活用してどうしていくかという今後のスケジュールだと思います。これも先ほど申しましたように、一つは今年度を目途にコースづくりをしていきたいと思っています。このコースづくりも本当に色んなジャンルのお宝が出てきているので、これを全て活用してということにはいきなりはならないと思えますので、これはこれとして一応ストックさせていただいた格好で、この中から使える、あるいは例えば地図にプロットした時にここは近くなのでここにも寄って見られるというようなコースも組めるかもしれません。そういったことをまずはやっていきたいと思っています。

これは市長も常々おっしゃっているのですが、このお宝探しは料理で言えば材料集めだということなので、コースを作っていくのがいわゆる工夫した料理を作ること。そういったことまでは何とか今年度やっていきたいと思っています。そして来年度以降はそうしたものをもとに、例えば旅行者であるとか色んな所にPRして、こちらに来ていただけるような取組みに繋げていきたいというところです。

もう一件は、お宝の追加募集だったと思えますが、これは現在のとこ

るこういった応募を再度するということは全然検討しておりません。ただ、そういった要望あるいは問い合わせ等があった時には、まさしく拒絶するものでも何でもないの、それについては受け付けていきたいと思っています。ただ、今回これだけ出てきたお宝をどうするかということも含めて、今からやっていこうと思いますので、まずはそこから手をつけていきたいと思っています。

布施委員長  
西田委員

西田委員。

以前これ、質問でもさせていただいたことがあります。その時の答弁では検討委員会的な組織で検討していくと答えられています。食材が並べられたのでこれをどのように料理するかをまたこれから検討される。その時にこれまでに例えば浜田市のツーリズム協議会が過去数年間に浜田に来て見て出会って食べて体験して、そういったことを組み合わせたツアーをずっとやってきています。ですから今までどういったツアーを浜田市でやってきたのか、そしてそのツアーがどのような効果があったのか、どうだったのかということも是非検証というか、少しでもデータをちゃんと集めて、それをもとにまた新たなコースづくりとかを設定していただきたいと思っています。

観光交流課長

おっしゃるとおり今までも色んなコースというのはありました。あるいは旅行社において作ってらっしゃるのもありますし、各自治区でもそういったコースを考えられているところもありました。ですので、そういったところも参考にしながら進めていきたいと思っています。

布施委員長  
笹田委員

その他委員からありますか。笹田委員。

西田委員さんと同じ形になるのですが、やはり先が見えないと言いますか、折角こうして集めて、市は何がしたいのかというのが我々も市民の皆さまになかなか説明しづらい。市が叩き台としてコースを作って、課長のお話だと色んな方の意見と言いましたけども、実際色んな方とは誰のことになるのかとか、すごいスペシャリストを呼んできてお願いするのだとか、そういうことが分かれば、ああこういう流れで進んでいくのだなと分かるのですが、今の段階で今年度中にコースの目途を立てたいという中で市が叩き台を立てて、ではどうするのかという所までは全然見えてこないと言いますか。本当にぼんやりしていて折角集めたにも関わらず、473件ですか、折角そんな大量に送ってきてくださった方に説明ができにくいと私は思っているのですが、具体的にもう少しちゃんとした説明がないと駄目なのではないかなと思いますので、このお宝を、色々数が多くて難しいのは分かりますが、色んな方の意見を聞いてってじゃあ誰なんだよという形になりますので、計画だとかそういうのがあれば、もう1回お示しいただきたいと思っています。

観光交流課長

まだ実はこの方というふうには決めておりません。ただ、先ほども申しましたように例えば旅行業の分野の方、あるいは浜田市には観光ボランティアガイドもありますがそういった方々の意見、あるいは色んな、実際にツアーに取り組んでいらっしゃるような方も今回応募していただきましたので、そういった方のご意見等も頂戴したいと思っています。ただ、今のところ大変申し訳ございませんが、まだそこまで至っていません。

笹田委員

そこまで至ってないということですが、集める段階でこれをしておかないと駄目だと思うのですよ。折角やるわけだから。集めてから、じゃあどうしようかというような話だと、本当にできるのだろうかとか個人的に思います。だから今回そういったことで進んでないのですから、次回ちゃんとした説明ができるようにしておいていただけたらと思います。

観光交流課長

その点大変申し訳なく思っております。今回先ほど申したように進めていくわけですが、今後コースづくりを当然本格的にやりますので、早急に詰めていって報告できるようにしていきたいと思っております。

産業経済部長

これは先ほど笹田委員のご質問、また西田委員のご質問もございました。これは今まで本当に浜田が元気になるためのツールの一つとして、これでどうやったら市外・県外の方が浜田に泊まってくれるか。見て来ていただけるか。そのためには今あるコース、その魅力も確かにあります。今の豊ヶ浦にしても城山にしても色んな所でやっておられます。ところがこの魅力だけでは本当に将来人を呼んで宿泊していただいて、物を食べていただいて、見ていただいてというのは、今のままでは弱いのではないかと。それで本当に市を上げて元気になろうということで、お宝探しをさせていただいたということになろうと思っております。これについてのルートづくりですが、課長も申しましたが、専門家に聞いてとかははっきり言って二の次三の次ではないですが、私らはここに住んでいるわけですから、きちんと市でこういったルートはどうかと。それで旅行会社にも説明したり、広島の方にも意見を聞いたりして、これで泊まらせていただけませんか食べに来ていただけませんかとか、そういったことはきちんと市である程度の叩き台というのは作るべきだと思っております。それでご意見をうかがうというのは、そういった場合にここじゃ駄目だよ、そういったところも加味したら良いよ、こういった所も加えたら広島の人だって行きやすくなるのではないかとか、そういったことを、ニーズも十分に調査しないといけないということで専門家の意見も聞かないといけないと思っておりますが、今浜田にいらっしゃる旅行会社の方でももう既にバスツアーを組まれたり、神楽を題材として昼食を合わせたバスツアーを組まれたりして色々努力されていますので、そういったものとも充分連携してきちんと叩き台は市で作ろう、そのような考えであります。今後スケジューリング的に先が見えないじゃないかと、400件あった題材をどうするのだというご意見、本当にそれに少しでも一つでも来てもらうには、道路を直さないといけないとか看板をつけないといけないとか、そういった人が留まる場所、来てくださって駐車場もないじゃないかということも想定されていますので、ですからそういったものも一つ一つ解決しながら、この宝を皆にPRしていこうといった時には、多少の整備とかも考えながらパンフレットにどう盛り込んでいくか。全部盛り込みました時でも、受け入れ側で全然対応が充分でない部分もありますので、そういったものも精査しながらパンフレットづくりだとかルートづくりだとかというのはやっていきたいと思っております。うちの希望としたら、これだけの題材を市民から出してもらったわけですから、出来るだけ速やかなルートづくりに取り組んでまいりたいと思っております。

笹田委員 だいぶ先が見えてきたというか、気持ちは分かったのですが、コースづくりの叩き台というのは観光交流課のみでされるのでしょうか。

観光交流課長 はい。一つは担当課であります観光交流課で行っていききたいと思えます。ただそのお宝にも、こちらにありますように色んなジャンルがあります。例えば歴史的な物であるとか。そうなる関係部署にもご協力をお願いしたりとか、聞いて作っていかねばいけないということは当然出てこようかと思えますので、それは聞きながらやっていききたいと思っています。

笹田委員 分かりました。歴史だとかになると教育委員会の専門家の方に話を聞いたりするようなことが出てくるかなと思って質問させてもらったのですが、やはり今回新しくなった観光協会もありますので、一緒に連携してこういった話をして進めていけばどうかなと思うのですが、それについて意見があればお願いします。

観光交流課長 もちろん観光協会も、これは市がやっているのだからというようなことは絶対あってはいけないし、一緒になって取り組む。あるいはもっと、むしろ自分たちが積極的にやっていただくというふうには持っていかなければいけないと思っておりますし、これは将来的なところもあるかと思えますが、例えば旅行業の資格を持ったような方に観光協会に入ってもらえたら、そういったこともより可能になってこようかと思えますので、いずれにしても一緒になって当然やっていききたいと思っています。

布施委員長 その他委員からありますか。飛野委員。

飛野委員 募集された結果の広報手段、内容とタイミング。

観光交流課長 これは先ほど申しましたように、現在市役所の1階市民ロビーにパネルにして展示しています。今後各支所にも置きたいと思っています。それともう一つは、広報でこれを発表してお知らせあるいはご報告していきたいと思っています。

もう一つ、今現在は市民ロビーでやっていますが、今ちょっと他の所のパネルも作成中ですので、出来たら来週中ぐらいには各支所にそれを持っていききたいと思っています。それともう一つ言い忘れましたが、こういったものが出ましたという報告については、市のホームページでも出していききたいと思っています。もう一つの広報については掲載は一応9月号になる予定です。

布施委員長 その他委員からありますか。牛尾昭副委員長。

牛尾昭副委員長 この件は立ち上げから物議を醸したと言うか、6月の定例会でも複数の議員から一般質問があったところですが、課長の当時の説明は、しかるべき方をプロデューサーにして一定のコンセプトの中で色んなものを作っていくのだというような説明だったわけです。いまの部長の答弁は、市役所の中で叩き台を作ると。これ路線が全然違うわけです。ますます分からなくなってしまって。僕も6月30日のギリギリに1件応募したので、中身言いませんけど。例えば大阪のUSJですか、今ハリポッターが人を呼んでいるけど、やっぱり人を惹きつけるためには一定の夢であるとかロマンであるとかは必要だなと思うのです。そうするとこれだけの広いジャンルから言えば例えば歴史家であるとか食の専門家であるとか、ツーリングの専門家であるとかツアーリストの専門家であるとか、

そういった多分野の中から逆に言えば市長なら市長部局や市長が、こういうコンセプトでこういうコースを作りたいのだという、市長が強い意思を示しながら、それを各専門家たちが受けて、この素材の中から一つのコースを作るというのが、僕は本来あるべき姿だと思っていますので。いまの部長の話を知ると、いや役所の中で叩き台を作るのだと。役所の中で叩き台でそんな優れた物が作れるとはとても思えないので、実は非常に心配しているのですよ。それはちゃんと整理して欲しいのです。いま部長の言ったことが市長の考えなのか部長の考えなのか。6月に課長が言ったこととはどのような整合性が取れるのか。ちょっとその辺だけでも説明しておいてもらわないと。市民に聞かれた時に、前回と違うことを説明しなきゃいけない。この間はこう言いましたけど実は部長が今日こう言いましたと。その辺についてちょっと統一的な見解をお願いします。

産業経済部長

ちょっと言い方の面や受け手の方の感じ方がちょっと違った所があった点についてはお詫び申し上げます。議会の一般質問の中で出て、要は専門的な委員会であるとかプロを呼んでくるのだとかという発言も一部ありましたが、それにしても専門家に見ていただく、ある程度旅行会社に見ていただく、ましてや来ていただく人の声を直接聞くことも可能かと思いますが、その中でこういったことに発展する可能性もあるかもしれませんが、実際に外から来ていただいた方にコースづくりをお願いして、きちんとしたコースが出来るか私も疑問に感じているところで。ただ今実際にコースというのはかなりございます。実際に西田委員から言われたツーリズム協議会でずっと皆さんをご案内したケースもありますし、既に県外から修学旅行に来ていただいたケースもあります。そういったところで既に旅行会社がやって浜田のどこで視察してどこで食事して、こういった所にお泊りになってこういったことで楽しんで帰られたケースというのは今までもやっているし今もずっとやっています。その中で今回のお宝探しで提案していただいたお宝を、どのようにマッチさせていったら良いのか。それとそういったところで素晴らしいコースづくりが出来ないかというところで、専門家に頼むにしてもそういった方に来てもらってご意見をいただくにしても、まずはきちんと市として叩き台を作っていかなければならないと考えているというのが私の本意とするところでして。それで結果として皆さんに本当に来て良かったと言っていたら、またリピートしていただけたら泊まっていたらただけとかというのが本意ですので。ただ語弊があるのは、私ども専門家ということに対して、お話をさせてもらう場合もあるかもしれませんが、決してそれに丸投げしようとは思っておりませんので。そういった面ではきちんと責任を持ってやらないといけないと考えているところですので、何卒ご了承いただけたらと思います。

牛尾昭副委員長

専門家に丸投げということをお前は言ったわけではなくて、例えば市長が代わって久保田新市長がこういうコンセプトで新しい宝探しをして、新しいルートを示して入込客を増やしたいのだと、そういう最初のコンセプトがあってこのお宝探しをしたわけでしょう。だから集まった素材を職員の方がご苦労をされて叩き台を作られたとしても、やはりそこか

らどのような、既成の枠を超えたようなアイデアが出るのかなというのが疑問に思うわけです。ですから僕は、トップが決めたこと、トップのコンセプトに沿って専門家を何人か集めて、その中でこういうルートを作って欲しいと言えば当然それに沿ったものができるわけですから、僕はそうあるべきだと思って。この数ヶ月はそのようにおやりになるものと、答弁も聞いて思っていたので。ここに来てちょっと違うので、違和感があるなと思っただけのことを言ったのです。それは市民の方も一緒だと思います。最初20件しかなかった。新聞が書いたから、市長もあちこち行って応募してくれと言ったから、結果的に集まったと。無理して集めた結果がこうだと。そこまでは良いのだけど、ではこれをどうやって活かすかという時にいまのようなお考えではちょっと心配というか。特に歴史に根差したルートを作ろうと思えば、職員に詳しい方もいらっしやるかもしれないけど、やはり歴史家というか。対外的に見せるに足り得る歴史がそのコースにあるのかどうか、例えばですよ。そういうことも検討しないといけないので、僕は叩き台を作るところに専門家を嘯ませながら叩き台を作るべきだろうなと思っただけなので。これ以上言いませんが、その辺はちょっと心配しています。

産業経済部長

ご不審の点があったことについては、答弁についてはお詫び申し上げます。いま副委員長ご指摘の点についても充分応えられるように加味して努力してまいりたいと思っています。

布施委員長

では休憩に入りたいと思います。

[ 11時 24分 休憩 ]

[ 11時 30分 再開 ]

布施委員長

休憩前に引き続き会議を再開します。

## (5) 平成25年度指定管理施設の状況について(金城支所産業課)

金城支所産業課長

(5)について、金城支所産業課長。

布施委員長

(以下、資料をもとに説明)

串崎委員

説明が終わりました。委員から質問はありますか。串崎委員。

大変に危機的状況、特に美又温泉を見ると危機的状況だと思っています。これずっと赤字経営ということですが、平成24年から25年にかけて何とかしなければという形だと思っただけですが、何をどのような形でやられたか、ちょっと教えていただきたいと思っています。

金城支所産業課長

保養センターについては具体的にということはないのですが、今年美又振興事業ということで美又温泉の再生に取り組むことになっています。その中で美又温泉保養センター、どういう方向性をということでもた地元のコンセンサスあるいは専門家・見識者の方々のご意見をうかがいながら、何らかのはっきりした方向性を出したいと考えています。その間、小修繕や対策等はやっていますし、集客対策としても地元の方々のご協

力をいただいて、ホテルだとかあるいは川遊びというものをメインに集客には努めてきたところです。

串崎委員

言われることは分かりますが、これ本当に毎年危機的な状況という形で。例えば小さい所から、議員の方で忘年会行っていただいたりとか、新年会で使ってくれとか、そういったことも全く働きかけがない。何をされているのかちょっと分からない状況で。金城支所で忘年会に行ったとかそういうチラシもありませんし、あまり目に見えないような感じがしているのですが、もう少し何か本気を入れても良いような気がします、その辺はどうでしょうか。

金城支所産業課長

串崎委員ご指摘のとおりで。職員の方々への呼びかけも少なかったわけですが、支所内ではできるだけあそこを使おうということで、会議だとか懇親会等に使ってあげるようにはしているのですが、きんたも含めて、そういうことをご指摘の分については真摯に受け止めてまたこういうPRをさせていただきたいと思います。

布施委員長

その他委員からありますか。牛尾昭副委員長。

牛尾昭副委員長

きんたが悪いという話を聞いていたのですが、これくらい落ち込んでいると聞いてびっくりしました。きんたと美又についてうかがっておきたいと思いますが、高速料金の土日割引3割しかなくなって更に影響を受けていると思うのですが、4月以降についてどのような状況なのか分かれば教えていただきたいと思います。

金城支所産業課長

4月以降の状況ですが、きんたもやはり売上が落ちております。それについては高速道路が元に戻った影響は大きいですし、消費税の問題もあります。これからまたそういう問題が出てきます。保養センターについても同様で。きんたの里についてはすみませんが数字的にマイナス5%前後だったのでしょうか、そのように聞いています。すみません詳細な数字はまだ調べておりません。保養センターについては落ち込みがそれよりも若干大きいと聞いています。

牛尾昭副委員長

以前も言ったと思いますが、保養センターの日本休暇村サービスは年に数回、全国紙にチラシを出すのです。休暇村サービスが指定を管理している全国の保養所という。その中に、この美又の温泉保養センターが漏れているのです。多分課長は知っていると思います。すごくびっくりして。休暇村サービスという会社自体が受けているにも関わらず。いつかとも言いましたが美又の湯というのはすごい湯で、それを敢えて落としているという意図が分かりませんがすごくショックでした。恐らく企業とすれば約束だから仕方ない、500万円払うけど、多分次はないだろうなという印象を受けます。その500万円をゼロにしても去年実績が2900万円赤字だったらゼロになっても仕方ないですよ。逆に上乗せで貰うならやっても良いけどという、そういう状況だと思います。恐らく休暇村サービスがそうであれば、他の全国の営業体から見ても魅力がないのだろうなと。よく考えたらこれ合併の時に6000万円ぐらい入れてリニューアルしているわけですよ、この保養センターは。でもあれから8年ちょっと経つからもうガタがきているのだろうけど。この保養センターについては施設閉鎖も視野に入れるような状況ではないかなと僕は思います。美又の湯は全国でも3本の指に入るようなすごい良質な湯だと。

そういうメインになるようなところがそういう状況なのですよね。だから、けしからん駄目じゃないかと言う以前に、本当に深刻な問題なので、もうこれをなくしてしまうかどうかという基本的なところに立ち戻って、ここをどうするか、再生させるのかさせないのか、このまま眠らせてしまうのかという、そういう議論をしなきゃいけない時期にきているのだらうと思って。今日のこの数字を実は深刻に受け止めていました。是非、議会というのは数字を見てけしからんじゃないかというところだけではないので、では本当にここをどうするのかということ、やはり金城支所だけではなくて全市的に、外からの知恵も用いながら何とか、こんな良い湯のある温泉を潰したら僕は恥ずかしいと思います。これ以上言いませんが、是非何とか死力を尽くして立て直さないと、僕は恥ずかしいと思う。ということでご健闘をお祈りしたいと思います。是非議会側にも色んな要請をして欲しいと思います。お願いします。

金城支所産業課長

ご指摘の部分については、そういう判断も必要かもしれません。今後地元なりとそういう検討をさせてください。それと休暇村の新聞広告についてはいつかご指摘があっぴくりして見ました。それについては休暇村サービスというよりも休暇村協会が所有している施設ということで広告が載っていたということで、休暇村サービスの指定管理施設は載っていなかったということで、まずは安心したところです。これについてはある方向性を出さなければいけない時期がきていると思っています。

布施委員長

その他委員からありますか。

( 「なし」という声あり )

ないようですので次の議題に移ります。

#### (6) 平成25年度第三セクター決算状況について (三隅支所産業課)

(6)について、三隅支所産業課長。

三隅支所産業課長

( 以下、資料をもとに説明 )

布施委員長

説明が終わりました。委員から質問はありますか。

( 「なし」という声あり )

ないようですので次の議題に移ります。

#### (7) 市道路線等の現地視察について (維持管理課)

(7)については現地視察が済んでいますので次の議題に移ります。

#### (8) その他

観光交流課長

(8)その他について、執行部からお願いします。観光交流課長。

資料はございませんが1点ご報告申し上げます。ご存知のとおり観光交流課は今、駅舎の2階に事務所を構えています。これは一つは県を上げての「神々の国プロジェクト」に呼応するものであり、神話博等の会場から浜田市の方にも来てもらうというのが大きな目的の一つでした。そんな中でJRにおかれまして山陰ディステーションキャンペーンであるとか、そういった取組みを一緒にやるということから、あの駅舎へ行ってすぐに話ができる状態で取り組もうということで進めてまいりました。併せていわゆる高速バス等の結節点もあるということで、これ

はJRバスさんですが、そちらでも例えばラッピングバス等を走らせていただいているところです。なお期間中においては特急の発着時に恵比寿を舞ってお迎えするだとか、ご存知のとおり浜田の駅舎、JR側になりますが、そこにもかなり情報提供等もさせていただき、あそこに神楽の写真であるとか色々そういったものを掲示させていただき、一緒に取り組んできたところです。今年度においては一応その神話博等のプロジェクトが1つは終了したということもあります。

それから先ほどもありましたように、今度はいわゆる新市長のもとでロードマップに謳ってあることについて、なるべく近くでそれに邁進していきたいということもあり、この8月23、24日、土日ですが、そこで移転作業を行い、25日からこちらで事務を行う予定にしております。それから、そういったものの告知も当然またやっていきたいと思えます。

布施委員長

このことについて委員からありますか。

( 「なし」という声あり )

続いてその他ございますか。安全安心推進課長。

安全安心推進課長

失礼します。本来私の所管は総務文教調査会になりますが、自衛隊の誘致についてということで資料の写しを出させていただいています。浜田商工会議所からの要望ということで、5月27日付で浜田市長と浜田市議会議長それぞれに、こういった形で要望が出されています。この件については6月議会で一般質問をいただいています、その時の回答として、表現としては基地港ということが使っていますが、内容としてはいわゆる駐屯地とか、そういった形での陸上設備を伴う基地の誘致ではないと。あくまでも浜田港を利用させていただくことによる、水やお米等の物資を補給していただけないかといったことを要望していきたいという主旨だと聞いていますし、そのような回答をさせていただいています。

また今後の進め方については議会の意向をお聞きしながら進めていきたいという回答をさせていただいています。今回、今後の誘致に向けて要望なりしていこうという考えを持っていますが、メインとしては浜田港へ入港していただくことによる経済効果。今年まつゆきが入港いたしました、3千人を超える方が上艦なり見学に来ていただいております。また乗員が2泊したことにより夜間飲食等しております。こういった経済効果をメインに捉えて進めていこうと。私どもとしては災害時には当然陸上自衛隊なりに協力を仰ぐわけですが、陸路が封鎖された場合は海上自衛隊の協力もいただくといった面がありますので、常日頃から良好な関係を築きたいということもあり、基本的には自衛艦の誘致、今は年1回程度だいたい来ておりますが、可能ならこれを2回にさせていただけないかというような要望をしたいと考えています。9月9日の予定になっています総務文教委員会、9月11日の予定になっています産業建設委員会、こちらの方で、今後の浜田市としてはこういった目的で要望していきたいというような提案をさせていただこうと思っておりますので、その場でご意見なりご質問なりいただければと思っております。そういった形で、今回は情報提供という形で説明をさせていただきました。よろしく願います。

布施委員長

9月の定例会で、議案ではなく委員会で説明するということですね。

はい。ではこの件について委員からご質問ご意見等ありますか。まあ9月委員会でご説明ありますのでその時にお願いします。

その他ありますか、ないですか。以上で執行部報告事項は終わります。

## 2. その他

小川次長

では続いてその他です。事務局から1点あるそうですお願いします。

事務局からは、この前の視察の報告書をお配りしていますので、また見ていただきたいということと、もう1点。一般県道黒沢安城浜田線の改良についてということで長見と弥栄の協議会から要望書が出ています。要望書なので審査等はいりませんので、お配りして今後の参考にしていただきたいということです。

布施委員長

はい。他に何かありますか。委員の皆さんから何かありますか。牛尾昭副委員長。

牛尾昭副委員長

先ほど女性セミナーの件がありましたが、女性の方複数から意見を聞いていますので、執行部に報告しておきます。今、講座開設が土日ですね。それで30代主婦の方お二人から聞いたのは、土日は子どもの面倒と旦那の面倒を見ないといけない。起業しようと思うとウィークデーの講座が望ましいのだということがあって。ウィークデーだと参加できたというようなご意見ありました。これ次年度以降もおやりになるわけですから是非参考にさせていただきたいと思います。そういう報告でした。

それともう1点。シニアセミナーはいつからやるのかというような話があるのです。秋口からということでしたが、もうそろそろ秋口になるので、早めにその辺は。皆さんからいつからかという問い合わせがあるので。市として示されるべきだと思います。例えば9月議会の冒頭であるとか。ある時期に。その辺の予定というのはどうなのでしょう。

産業政策課長

シニアそれから若者セミナーについては、現在のところ10月からというのを考えています。と言いますのは、江津と益田が起業創業セミナーをするという件がありまして、ちょっとそれと被りますので、であれば、まあ浜田市として考えれば良いことなのですが、今回の女性セミナーも近隣市からも来ていただいているということがありますので、であれば10月からということで準備を進めているところです。

牛尾昭副委員長

そうすると江津と益田ですか、それはうちの例えば10月よりも早めに計画をされているということですか。

産業経済課長

そうです。

牛尾昭副委員長

ああそうすると逆にそのことで、浜田がやらないから江津へ行く益田へ行くというような現象が起こるのではないかなと思ったりしますが。周辺に配慮されるのは良いけどどうなのでしょうかね。それ以上分かりませんから言いませんが。周辺に配慮されるのは良いけど、市長がロードマップで示して何をやるか謳っているわけですから。市長の意向がそういうことであるなら仕方ないけど、現課でそのようにお考えであるなら、どうなのかなと思ったりしますので。市民が待っているということですから、よろしくお願いします。

布施委員長

その他ありませんか。牛尾博美委員。

牛尾博美委員

今日の色々な報告事項の中でちょっと感じたことがあります。それは

先日あさひ荘がオープンした、それからここにあるようにこの邑南町の食の関係、金城のそれぞれの三セク、休暇村云々の話、全てが浜田道に関係しています。それで、昨年に松江道ができた段階で僕はすぐ思ったのだけど、自分が広島にいた時にコンパスで100kmを描いた時に、米子と浜田道以外は山陰で言うと無料なのです。松江道もそう、鳥取道もそう。そうすると100kmで円を描いた時には、広島の関係で言うと広島開拓室を持っているけれど、そこから言うと後ろには高知県もあるし愛媛もあれば、こちらでいくと岡山大阪、こちらで言うと下関北九州も入ります。そうした中で浜田に…流入人口が本来195万人ですよね浜田。昨年一昨年はそうだった。それが減っている。そういうことを考えると浜田道が有料になっているということは、広島から見た時に往復の5千数百円はそれだけメリットがあるかどうかというところが大きな問題なのだけど、それに対して浜田はどういう政策、例えば補助政策というか補填するような政策、例えば金城カントリーはゴルファーに少し補填していますよね。そういうことを考えているかどうかというのを、戦略の一つとして考えていけないといけないと僕は思っているのだが、そういうことをどう思われるか、それだけちょっと。今日の連絡事項の中でかなり浜田道に関連した部分があって。これは皆お金を払って来ているわけですよ。そうしたところでもっともっと人が頻りに動くということを考えた時に、その辺の施策があるのかどうかちょっと聞いてみたいです。

産業経済部長

浜田道、実際に7月に入って土日の割引率も上がったということで、平日も含めてですが、これはうちの方でも、確かに今まで無料化実験ということで無料になった時期もありました。そういったこともやっていただけないだろうかという思いもありましたが、国全体の制度なのでなかなかそれも致し方ないということで、いま実際に割引、浜田道を通って来られた方に対しては多少割引されるお店もあるというふうにかがっていますが、実際には全体では行っていません。ただ、対広島からしても松江・出雲・浜田、確かに浜田道は無料とは言え、三次の先までは有料なわけで、決して浜田に…料金が安いからといって松江に行かれる方はいらっしゃらないと思いますが、やはり目的もあっていらっしゃると思いますが、これも浜田道を通られたからといって、来てくださいということで、こちら側の受け皿で何かインセンティブを付けるとか、来ていただいたことに対しておもてなしで割引をするというのは当然考えていかねばならないと思っています。それが浜田道を通ってこられたからということになるのかならないのかは別としても。私どもが一番考えていきたいのは、先ほどのお宝ではないですが、こちらにいかにも魅力を作っていくかというのが一番大きな問題だろうと思っています。邑南町の問題にしても、先ほどの温泉街の問題にしても、全て浜田道沿線であり、浜田道を抱えているのは島根県内では邑南町と浜田を通して広島に通じているわけですから、その浜田道の重要性というのは充分認識しているつもりです。ただ、浜田道を通るからといってこちらですぐ割引するとか値引きするとかということではなくて、そういったことは経済的にはなかなか長続きしないと思っていますので、こちらでいかに魅力を上げていくか、そういったことで努力しないといけない。それを相手の

布施委員長

方にきちんと分かっていただくように、リポートしていただくような施策を考えていくのが本来の姿ではないかと思っています。

はい、その他ありますか。

( 「なし」という声あり )

ないようなので、以上で産業建設調査会を終了します。皆さんご苦勞様でした。

[ 12 時 07 分 閉議 ]

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

産業建設委員長 布施 賢司 ㊟